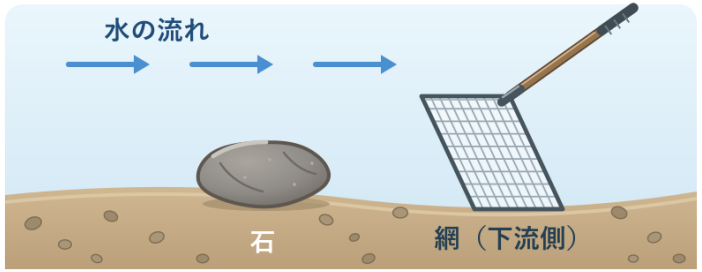
水生生物による水質調査

川にすむ生物から、水のよごれの程度を調べよう

調べ方



① 流れのある浅い所（瀬）で、
石の下流側に網を置く。

② 石を持ち上げ、足で川底をかき混ぜ、
流れてきた生物を網で受ける。

③ 生物を白いバットに移し、指標生物の
種類を調べる。

④ 見つかった指標生物から、水質階級を
判定する。

判定のしかた（あらまし）
指標生物の種類が多く見つかった階級を、
その地点の水質階級とする。
くわしい集計のしかたは、調査テキストに従う。
安全のため、大人といっしょに調べる。

水質階級と指標生物（29種）

Ⅰ きれいな水	Ⅱ ややきれいな水	Ⅲ きたない水	Ⅳ とてもきたない水
ナミウズムシ	カワニナ類	タニシ類	サカマキガイ
サワガニ	コオニヤンマ	シマイシビル	エラミミズ
ヒラタカゲロウ類	コガタシマトビケラ類	ミズムシ	アメリカザリガニ
カワゲラ類	オオシマトビケラ	ミズカマキリ	ユスリカ類
ヘビトンボ	ヒラタドロムシ類	○ニホンドロソコエビ	チョウバエ類
ナガレトビケラ類	ゲンジボタル	○イソコツブムシ類	
ヤマトビケラ類	○ヤマトシジミ		
ブユ類	○イシマキガイ		
アミカ類			
ヨコエビ類			

○：海水が少し混ざる所（汽水域）の生物。
Ⅰ・Ⅱの両方で見られる生物（ヒゲナガカワトビケラ類など）は、指標生物にしない。

結果を場所や季節でくらべ、人間の活動との関係を考える。

※ 指標生物は、環境省・国土交通省「川の生きものを調べよう」による。地域独自の指標生物を使うこともある。